

Title	Preface
Sub Title	
Author	富田, 勝(Tomita, Masaru)
Publisher	慶應義塾大学湘南藤沢学会
Publication year	2015
Jtitle	生命と情報 No.22 (2015. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス先端生命科学研究会 2015年度学生論文集
Genre	Technical Report
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO92001004-00000022--006">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO92001004-00000022--006</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# Preface



本論文集は、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）先端生命科学研究室および鶴岡タウンキャンパス（TTCK）先端生命科学研究所の学生論文要旨集です。

2015年度も多くの学生が活躍して様々なアワードを受賞しました。

村上慎之介君（博士3年）が第9回細菌学若手コロッセウムにて若手奨励賞を受賞。吉川実亜君（環境4年）が、SFC Open Research Forumの卒業プロジェクト発表会において優秀賞を受賞。

また、川崎悠里子君（修士1年）、宗像英仁君（修士1年）の論文がそれぞれ学術専門誌に掲載されるなどの功績により SFC STUDENT AWARD を受賞。同時に、森本健太君（環境4年）、吉川実亜君（環境4年）、吉田祐貴君（環境4年）の卒業論文がそれぞれ優秀卒業プロジェクトを受賞。

研究室内の表彰としては、今井淳之介君（修士1年）、宗像英仁君（修士1年）、高藤真由子君（環境4年）、増田貴宏君（環境3年）、中宿文絵君（環境3年）、岩井碩慶君（環境2年）が優秀賞、土澤優里君（総合1年）が奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

バイオインフォマティクスと実験生物学の融合を目指して、2001年4月に山形県の慶應大学鶴岡キャンパスに先端生命科学研究所を開設してから、今年で15年目になります。2007年度からSFC大学院の政策メディア研究科の「バイオインフォマティクスプログラム」は「先端生命科学プログラム（英語名： Systems Biology Program）」に改名し、また環境情報学部でもバイオ系科目が充実しました。このカリキュラムの目玉はなんと言っても、一年間鶴岡キャンパスに滞在して毎日実験実習を集中的に体験できる「バイオキャンプ」です。毎学期15名程度の学生が参加していますが、バイオキャンプに参加した学生のうち多くはその後も鶴岡に短期・長期に滞在し、世界最先端の施設を利用してバイオ実験を行っています。

す。

システム生物学という新たな切り口で先端技術を開発し、それらを駆使して生命科学、医学、環境科学のブレイクスルーを目指す。それはチャレンジングでとても楽しいことであり、なにものにも替えがたい究極の贅沢だと考えています。

“Science is ultimate amusement”

2016年3月吉日

富田 勝

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Masahito Tomita', written in a cursive style.